



Press Release

Jan 2021

美術家 堀浩哉の初期作品～近作までを辿る個展  
「堀浩哉 回顧展 Kosai Hori Retrospective」開催！

神楽坂の√K Contemporary にて 2月13日から

会場 | √K Contemporary (ルート K コンテンポラリー)  
東京都新宿区南町 6 | 03-6280-8808



√K Contemporary (ルート K コンテンポラリー/東京・新宿) は、2021年2月13日(土)～3月6日(土)にかけて、堀浩哉の初期作品から近作まで約30点を展示する「堀浩哉 回顧展 Kosai Hori Retrospective」を開催いたします。

70年代から様々な表現方法を自己に落とし込み、まさに自由な発想でその時代の芸術活動を牽引してきた堀浩哉。本展は、PART I (初期から中期の絵画)とPART II (2015年以降の近作絵画)との2セクションで構成される展示会となり、初期から近作まで、堀浩哉作品の変遷をお楽しみいただけます。また、本展では国内外で多くの作品を発表してきた同氏の国

---

√K Contemporary

Address: 6 Minami-cho, Shinjuku-ku, Tokyo

Tel 03-6280-8808 | Email info@root-k.jp | URL root-k.jp



内未発表作品も出展いたします。

さらに、本展は新作展や、インスタレーション作品展との連動開催。様々な芸術活動を行ってきた堀浩哉という美術家を包括的にご覧いただける初の試みとなっています。

一見センセーショナルな画面に対峙すると、全魂を込めた叫びに近い線と線の重なりが念仏を唱えるかのような幾重もの線で封印され、張り詰めた静けさだけが現れます。その時々で表情の変化はあるものの発する気迫は薄れることなく芸術へと昇華しています。氏がひたすらに向き合ってきた「絵画」という体系を本展でご覧ください。

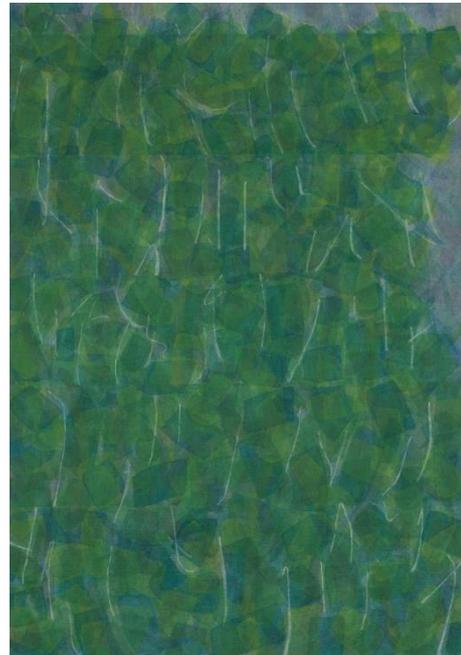
### 【本展のハイライト】

#### — PART I | 初期から中期の絵画—1978～1991年

「1960年代の「前衛の時代」、反芸術、ミニマリズム、概念芸術を経て、70年代を出発点とするぼくらは芸術をゼロ地点から見直し、組み立て直すことを強いられた。ぼくもまた、パフォーマンスやインスタレーションを繰り返しながら、そこからの視点で絵画への契機を見出そうとしていた。・・・たどり着いたのが1980年発表の「エリゼの肖像へ」シリーズ（兵庫県立美術館蔵など）であり、今回の展示はその中の1点。

それから1984年には「絵画」でベネチアビエンナーレに参加するなど、ひたすら絵画のみに専念していた時期の一端を、ここに展示している。」

（堀浩哉）



エリゼの肖像へ・9 1980



風の声 50 1990



— PART II | 近作絵画—2015～2019年（滅びと再生の庭）

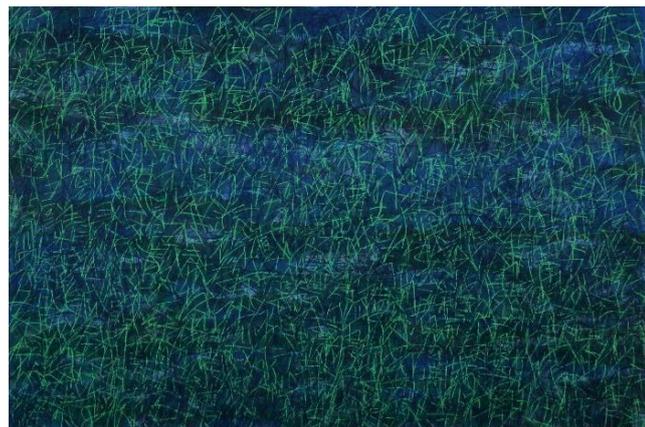


滅びと再生の庭-13, 2015

「そこはなんとも不思議な植物園だった。世界の各地から、様々な植物の種や株を持ち込み、植え込んでいった。そのほとんどは根付かず滅びてしまう。しかし中には環境に適合し、あるいは先住の同種と交配しハイブリッドとして生き延びるものもある。そうやって分類を無視して生存競争にまかせながら、それでいてとてつもなく官能的でもある植物園。・・・妻がJに『ここは滅びと再生の庭ね』と言った。Jは一瞬とまどったけれど、『ああそれはいい言葉だ』とうなずき、さらに『コウサイがここでドローイングを繰り返しているのも、まさに滅びと再生の行為だね』と言った。」（堀浩哉）



滅びと再生の庭-32, 2017  
(国内初出展作品)



滅びと再生の庭-29, 2016

作品画像 | 撮影：宮島径 ©HORI Kosai, Courtesy of Mizuma Art Gallery

【堀浩哉 連動企画展も同時期に開催！】

本展と時期を同じくして、ミヅマアートギャラリーにて新作展「触れながら開いて」、そして Space√K では「堀浩哉+堀えりぜ」のインスタレーション作品「記憶するために—わたしはだれ？」が開催されます。絵画作品の回顧展と新作展、そしてインスタレーションという、多様な表現をしてきた美術家、堀浩哉の半世紀を超える芸術活動を包括的にご覧いただける貴重な機会となります。本展とあわせて、ぜひご覧ください。

尚、新作展の詳細につきましては、ミヅマアートギャラリーまでお問合せください。

— 堀浩哉 新作展「触れながら開いて」



会期 | 2月24日(水) ~ 3月27日(土) 12:00 - 18:00 (予約制)

会場 | ミヅマアートギャラリー

Address: 東京都新宿区市谷田町 3-13 神楽ビル 2F

Tel: 03-3268-2500

URL: <https://mizuma-art.co.jp/>

一 堀浩哉+堀えりぜ インスタレーション「記憶するために一わたしはだれ？」

会期 | 2月13日(土) ~ 3月26日(金)

会場 | Space√K (新宿区南町 6 √K Contemporary B1F)

入場料 | 800 円 (収益の一部は東日本大震災復興支援活動支援に寄付いたします)

主催 | 一般社団法人 日本美術継承協会

協力 | 原爆の図 丸木美術館、ミヅマアートギャラリー、SEI-RIN

技術協力 | 金子智太郎、田中啓介

詳細は企画展HPにて | [https://root-k.jp/exhibitions/kosai-hori\\_erize-hori\\_to-remember-who-am-i](https://root-k.jp/exhibitions/kosai-hori_erize-hori_to-remember-who-am-i)

#### 【アーティスト | 堀浩哉 (ほり こうさい)】

多摩美術大学入学と同年の 1967 年、仲間を募って「自己埋葬儀式」というパフォーマンスを行い、美術家としての活動を開始。さらに、60 年代末には学生運動にも参加し、その中から美術の制度性を問い直す「美術家共闘会議 (美共闘)」という運動体を立ち上げ、その議長としても活動した。初期の作品は、そうした運動と重なりながら制作されたものであり、制作そのものの根拠を問うような作品。それはモダニズム絵画の限界を突破するために、絵画の歴史を遡りながらその起源を探る過程でもあった。次いで堀はその起源から出発して、この東洋で、そして日本で絵画が生成する過程を辿りながら、自らの絵画空間を構築してきた。一方で「今、ここ」での社会と美術の「境界線上」で生成する様々な問題や事象と共鳴しながら、それをインスタレーションやパフォーマンスとして精力的に展開。1977 年パリビエンナーレ、1984 年ベニスビエンナーレなど数多くの国際展にも出品してきている。

(ミヅマアートギャラリーHP より転載)

#### 【堀浩哉 回顧展 Kosai Hori Retrospective 開催概要】

企画展名 | 堀浩哉 回顧展 Kosai Hori Retrospective

会期 | 2月13日(土) ~ 3月6日(土) 11時~19時 (日・月曜 定休)

会場 | √K Contemporary (ルート K コンテンポラリー)

Address: 東京都新宿区南町 6

Tel: 03-6280-8808



Email: [info@root-k.jp](mailto:info@root-k.jp)

URL: <https://root-k.jp/>

主催 |  $\sqrt{K}$  Contemporary

協力 | ミヅマアートギャラリー

企画展 HP | <https://root-k.jp/exhibitions/kosai-hori-retrospective/>

\* コロナウイルス感染拡大状況により、開催内容が変更となる可能性がございます。何卒ご了承ください。

### 【会期中のご来場について】

新型コロナ感染拡大防止対策のため、入り口にて検温・消毒・マスク着用へのご協力をお願いいたします。また、会場内の状況により入場制限をさせていただく場合がございます。何卒ご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。



### 【 $\sqrt{K}$ Contemporary について】

$\sqrt{K}$  Contemporary (ルート K コンテンポラリー) は、2020 年 3 月に神楽坂にオープンした、これからの日本のアートシーンの創出と発展を目指して創られた次世代型アートギャラリーです。

加島美術が所有する新たなアートコンプレックスの 1、2 階にあり、2 フロアで約 300 m<sup>2</sup>という都内最大級の展示スペースを有するギャラリーとなっています。

長年古美術を通して先人達の素晴らしい美術品に触れ、磨かれてきた感性だからこそ見える次世代のアートシーンがあります。その為に時空や国境に関係なく本質の芸術に触れる場を作りたい、という思いからこのギャラリーは誕生しました。

戦後から現代、そして未来を担う若手まで、幅広くアーティストを紹介し、これからの次世代に向けてアートシーンを創造していく場として、選りすぐりのアーティストの個展はもちろん、 $\sqrt{K}$  Contemporary にしかできないユニークな企画展を開催していきます。

HP | <https://root-k.jp/>

TW | [@rk\\_contemporary](https://twitter.com/rk_contemporary) FB | [@rootkcontemporary](https://www.facebook.com/rootkcontemporary) IG | [@rootkcontemporary](https://www.instagram.com/rootkcontemporary)

\*\*\*\*\*

### 【プレス関係者向けプレビュー開催のご案内】

本展のプレビューを下記の通り開催いたします。

新型コロナ感染拡大防止のため、ご予約制とさせていただきます。

ご参加される方は、下記までご希望のお時間と人数をお知らせください。

何卒ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

尚、本展プレビューにご参加の方は B1F にて開催のインスタレーションもご覧いただけます。

---

$\sqrt{K}$  Contemporary

Address: 6 Minami-cho, Shinjuku-ku, Tokyo

Tel 03-6280-8808 | Email [info@root-k.jp](mailto:info@root-k.jp) | URL [root-k.jp](https://root-k.jp/)



す

<堀浩哉 回顧展 Kosai Hori Retrospective プレビュー>

日時 | 2月12日(金) 15時~20時(時間制・要予約)

会場 |  $\sqrt{K}$  Contemporary (新宿区南町6)

参加申し込み先 |  $\sqrt{K}$  Contemporary (担当: 渡邊)

Tel: 03-6280-8808 | Fax: 03-6280-8809 | Email: pr@sei-rin.com

---

【本リリースに関するお問い合わせ先】

$\sqrt{K}$  Contemporary (運営: SEI-RIN Co.,Ltd.) 担当: 渡邊

東京都新宿区南町6

Tel: 03-6280-8808 | Email: pr@sei-rin.com | URL: root-k.jp